

農園便 4月号

2024/04/01

(136号)

文責 筒口典康



2/6 この冬初めての雪、大雪

3/8 2回目の雪は小雪でした 春の気配

3月3日、耕区57区を工事用の道糸で、囲む。畑の構造を考える。手持の「糠」、「グリーンランド」(醗酵豚糞)を地表に撒く。三角鍬で軽く混ぜる。土毎醗酵を狙う。散水。土を育てる⇒「育土」する。

中央作業路、その南北に広畝。通路両側に養分多めの畝。北半分は乾燥気味に。南の畝は「水」大好きな作物を植えよう。追肥用の深溝も設ける。

3月4日、「カニ殻粉」を撒き混ぜる。カニ殻は、放線菌のエサ。5日、農園南口で、自転車ごと転倒する。年は取りたくないものだ。いつものように乗る積りが、踏ん張れずに横に倒れてしまった。少々左胸が傷む。ロキソニンテープを貼る。降雪(3/7)は、今年、二度目の雪。しばらく安静、安静。しばらく冬ごもり。

農文協農業図書センターの荒井店長から電話をいただく。メールアドレスを教えてもらう、……『一文字でも誤らないように気を付けて下さい』と……。年寄りには、手がかかる。何度打っても送れず難儀する。日を改めて、送り直しましょう。

ウクライナ、ガザ地区の悲惨な状況に心が痛む。 木島則夫の「八月十五日と私」終戦と女性の記録NET社会教養部編を読み直す。 勝者が敗者を痛めつける。 強者が弱者を痛めつける。 自分の学童疎開先で死にそこなった姿を思う。 涙以外に何もない。 人類は学べないのか……。 飲む「水」もない…ガザ。

57区の畑地は、ハコベ、ホトケノザ、ナズナ(ペンペン草)、スズメノカタビラ…。カタバミ、スギナ、ギシギシ、の気配はない。 それで、中性であろうと判断する。 苦土石灰などの「石灰分」を施す必要はない。 現代農法＝慣行農法でパターン化した、「先ずは石灰」……。 石灰は不要はであろうに。



57区 みのり堆肥 牛糞堆肥 豚糞堆肥 糠 カニ殻 等を置き(撒き)かき混ぜる 木オケラク

寒さの中でも良く晴れた日には暖かく、メダカが泳ぐ。 ガマカエルの産卵、産卵紐がグルグル巻きにいる。 福寿草も咲き出した。 既に、イヌノフグリも何処かで咲いているであろう。 あの空色は、「春」色だ。

野菜の種を探しに、オザキ・フラワーセンターに行く。 オザキは、私の生きた植物図鑑である。 店に入るだけで楽しくなる。

入って直ぐの北側は野菜のコーナー。 葉物、サヤエンドウ、ショウガに里芋、クワイもある。 種子のスタンドもある。 サカタ、タキイの種は2階だ。

苗を買う時には、勢いのある元気なものを選びましょう。 鉢穴に少しの根

が覗いているのが良苗だ。ドグロを巻いているのは、調子が悪い。老化した苗。で・・・、止めておきましょう。 ヒョロヒョロ苗は、棚に置かれて長い時間たったものだ。 節間が間延びしたものも止めておきましょう。

解らないことはそれぞれのコーナーの責任者に聞いて納得して買しましょう。色々教えていただいて、買しましょう。

最近良く、トマト、ナス、キュウリ・・・、「〇〇〇向けの用土」が売られていい。 だけど・・・、土をそれぞれの作物の適土にする工夫、それが面白い。

先ずは、腐葉土、堆肥。 自作したものが有れば良いが、無ければ購入する。畝の中には入れなくてよい。 表土に置くだけで良い。

バーク堆肥(みのり堆肥)(農協)。醗酵鶏糞。御用達と聞く、「JOYマルタ玉肥(醗酵油粕)(長花商店 tel 0280-56-1100)」を用意した。

粉炭・籾殻燻炭を使おう。 炭の細胞の小部屋は保水・保肥。また、善玉菌の住み処。 身近な有効菌を活用する。 麹菌、納豆菌、乳酸菌、酵母菌、放線菌・・・などである。

有機材料は、無料、安価のもが手に入ればそちらを使う。 畝の上に置いて(撒いて)、軽く混ぜるだけ。 もう大シャベルはいらない。 三角鍬で、混ぜるだけ。 軽労働である。 置く置く・楽しく楽しく、なのであります。 畝の地表に置くだけで良い。 「ツルナ」を蒔く(3/19)。翌朝も散水に行く。

根 耕 根で耕す。 パパイヤ、クロタラリア、キクイモは強勢な植物である。 根がしっかり伸びて、耕盤(硬い土の層)を打ち破る。 パパイヤ、クロタラリアは、熱帯植物なので冬の寒さで枯れてしまう。それで、根穴の空洞ができるのである。 翌年に、地中に支柱を押し込むとなんと 1m20 cmも沈む。

区民農園の使用期間が3年であると良いのですが・・・、短いのが難。 困ったもんだ。 根耕植物を利用しにくい。 大シャベルで深く耕す必要がない。

クロタ(マメ科)の場合は、ネコブセンチュウを攻撃する。また、根粒菌を付ける。 良いことづくめ。 根が深く伸びる。

キクイモ。 農園は、2m以上伸ばさない約束でありますから、気をつけましょう。 北アメリカの温帯植物ですから雑草化する恐れがある。 1.5mぐらいになったらどんどん刈り取って畝に置く。 ビニールマルチは止めて、キクイモの茎葉でマルチする。 秋口に入ったら根際で切る。 芋を作らせない。 こ

の根も深く土中に入る。根耕に使える。こまめに茎を切っていくと根は腐ってしまう。不耕起で野菜を作ろう。やってみよう。

竹 昔は、竹・笹・萩・レンゲがよく使われていた。「お爺さんは、山に芝刈に」だ。若竹を潰してマルチに使う。近ごろでは、竹チップ・竹パウダー等も農業資材として用意されている。粉碎した竹炭もある。

若竹には糖分が多い。「竹糖」と名付けて喜んだ。仲間内で辞書には無いナ…、「広辞苑」には載っていないヨ。「竹酢」は、あるヨ。言葉遊びである。

「竹糖」は、土中微生物の餌になる。「竹酢」は、殺菌・殺虫効果があるので使いたい。竹の枝葉・笹は、マルチに使える。支柱にもよく使われていた。

サトイモ 3月16日・17日。目覚めると、何と17℃の暖かさ。4月の陽気である。今日(3/17)は、里芋の畝を作ろう。「醗酵牛糞堆肥」は既に地表に置いて(撒いて)ある。中シャベルで「玉肥」の大玉と「カニレレット肥」「籾殻燻炭」を畝の中に入れる。混ぜる。重労働である。

大き目のコンテナをサトイモ畝の南前に3個置いた。水槽として使う。水槽の中に小コンテナ。そこに姫蓮根、クワイ、イネ、クレソン、芹…。

里芋の土寄せ時に、コンテナは土留めになる。

「石川早生」。ハンドボール並みの大きさに親芋はなる。子芋、孫芋、玄孫芋。石川早生芋は、美味しい芋だ。GA東京の先輩の松村さんに戴いたものである。しばらく連絡が採れていないが、作業中のお怪我が心配である。

「タケノコ芋」は、芋の首が20cmも伸びあがる。ホクホク系。女房は、『料理し易い』と言う。里芋のヌメリでカブレてしまうので、筍芋が良いという。でも私は、ネットリ系が好きである。

里芋は、縄文人の移動と共にやってきた。「芋」と言えば、サトイモなのである。収穫後少しおいて、茹でたり、焼いたり、蒸したり、煮転がし…。

塩味、味噌味、醤油味。とにかく美味しいのである。ダイコンの千切りと里芋の味噌汁が一番おいしいと言う御坊様の同僚が居ました。バター醤油味も旨い。鳥の挽肉塗しも珍味である。東南アジアに広まるタロイモも一度は食べてみたい。巨大な芋のようである。サトイモの仲間だ。

青梅街道の尾崎農園の出店で白菜とネギを買う。減農薬で作られた「健康野菜」で、美味しい。 農園の今は、土作り中で、何も植えてありません。

昔この地の「水道端」に日用品や野菜などの出店があったそうだ。「杉並区史」に「出棚=でだな 地名」とある。青梅街道は、江戸と秩父を結ぶ重要な街道であった。千川用水が街道をまたぐ。千川沿いに功労のあった訓導の石斧もあったが今は、石神井西小学校南門に移された。この先生が、どんな方であったのかも既に解らない…。カンカン地蔵も近くにある。幕府から苗字帯刀を戴いた千川兄弟の言われは、「いなげや」の四つ角 地蔵堂脇にある。

西武線上石神井の操車場の南の「石塚氏」のお宅も伝統あるお宅のようだ。今は、マンションになっている。更に南。杉並に入ると豪農「西山」宅。この家の文化財が井草八幡に保管されているとか。江戸時代の水車。今は、水車公園になっている。カレー粉工場があった。当時、千川にはウグイ=ハヤも泳いでいた。誘水路を堰き止めて、掴み取りもできたと言う。

3/20、ダイコン、コマツナ、カブなどを蒔く。強風。西高東低の冬に戻る。

ミトコンドリア 葉緑体 除草剤の話に戻りますが、この薬が撒かれると草が白化して枯れあがる。液剤の場合、湯を掛けられたように火傷する。霜枯れしたように溶ける。恐ろしい薬剤だ。

およそ 24 億年程前に、生命が誕生する。動物・植物が現れる前の話だ。核が作られ細胞幕が。細胞内組織としてミトコンドリア、ゴルジ体・・・を取り込む。やがて、シアノバクテリアが葉緑体を獲得する。光合成をしながら ATP なるエネルギー活動物質も合成する。ミトコンドリアは、この活動物質をコントロールする。これらの細胞内器官が破壊されるのである。植物・動物・菌・細菌……総ての生命体が死滅する。

『希釈濃度を守れば安全だ』などと言うことはありません。人間は何と馬鹿げたものでありましょう。「核」の事と同じです。何と恐ろしい事でありましょう。片付けられないものを使う。愚かなこと。

除草剤使用・農薬散布は犯罪であります。誰だって健康にくだしい。『希釈度を守れば安全だ』なぞと言えぬものではない。せめて、減農薬、減農薬。

ミトコンドリア病を引き起こす。除草剤は、止めましょう。神経系、筋肉系、老化促進、……。とにもかくにも恐ろしい話である。細胞そのものが破壊されていくのですから、決して許されるものではありません。お手持のスマホで、「ミトコンドリア病」、検索なさってください。私たちは、スマホを持っている。恐ろしいことが進んでいるのですヨ。 T、